

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-20-1-6 事業名 非常用給水施設整備事業 (高萩小学校、秋山小・中学校、松岡小・中学校、総合福祉センター)
事業費 総額 22,931 千円 (内訳 設計：1,234 千円、工事：21,697 千円)
事業期間 平成 26 年 2 月～平成 27 年 3 月
事業目的・事業地区  ライフラインの内、特に上水道については、復旧までに約 2 週間を要したことを踏まえ、小中学校等の指定避難所に、緊急的に飲料水を確保するための非常用の給水施設を整備し、断水時の給水活動の初動体制を整備する。
事業結果 ・実施箇所：小学校 3 校（高萩小、秋山小、松岡小）、中学校 2 校（秋山中、松岡中）、総合福祉センター ・実施内容：既存受水槽の改修（給水栓、貯留水流出遮断施設）5 箇所、非常給水用受水槽の整備 1 箇所
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 小学校 3 校、中学校 2 校の既設の受水槽の計 169 m <sup>3</sup> について、それぞれ給水栓、貯留水流出遮断施設を整備した。 また、受水槽未整備の総合福祉センターについては、受水槽 30 m <sup>3</sup> を整備し、非常時に迅速に飲料水を配付できることとなった。 ② コストに関する調査・分析・評価 計画当初は、防災井戸の整備により非常用水の確保を予定したが、試掘の結果、水質に大きな課題があり、飲料水への浄化装置に多額の費用を要することが判明。 再検討した結果、指定避難所である小中学校にすでに設置している受水槽を活用し、未設置箇所には新たに受水槽を設置することで、インシヤルコスト、ランニングコストを極力抑えることができた。 ③ 事業手法に関する調査・分析・評価 当初予定した防災井戸の整備は、水質の問題で調査のみとなり、予定の平成 24 年度中には完成しなかったが、受水槽の整備と既設の受水槽を活用することで、検討期間を含めて当初予定した平成 26 年度中に整備が完了したことから、事業手法は適正であったと考える。
事業担当部局 茨城県高萩市市民生活部危機対策課 電話番号：0293-23-2215